

地域の取組事例紹介

取組を始めたきっかけや事例について

岡山県倉敷市(倉敷市)

岡山県倉敷市は美観地区やジーンズや畳べり等の観光資源を有し、年間461万人の観光客が訪れる地域である

●申請地域概要

エリア名	倉敷美観地区周辺
申請団体名	岡山県倉敷市
年間観光客数 (令和5年)	約461万人 ※倉敷市内全体の数
年間延べ宿泊客数 (令和5年)	約91万人（うち外国人約4.2万人） ※倉敷市内全体の数
主な観光資源	倉敷美観地区の美しい町並み 大原美術館をはじめとする博物館群 ジーンズや畳べり、帆布などの繊維産業 い草製品や倉敷張り子、倉敷ガラスなどの民藝（文化） 瀬戸内海国立公園（鷲羽山ほか）などの瀬戸内の自然



倉敷美観地区



繊維製品

当市の受入環境整備は店舗ごとの取組みに留まっており、本事業では観光消費拡大に資する地域一体での対応実現を図った

●取組の背景・目的

【今後地域として目指す姿】

倉敷市がM I C Eに取り組む大きな目的は、M I C Eが地域にもたらす「交流」である。
特定の食習慣や文化的習慣を排除せず、相互理解・協力により多様な文化との交流を生み出す。
そして交流が新たなまちの価値を創り、地域が豊かになる、持続可能なM I C E 地域を実現を目指す。

【これまでの受入実績】

- ベジタリアン等の比率が高い台湾からの来訪が最も多く、全体の約45%を占める。
また、同様に比率の高い欧米圏からの来訪も約18%を占める。近年はイスラム圏からの来訪もみられる。

【地域の課題】

- 倉敷美観地区周辺では、さらなる観光振興・MICE誘致による消費拡大に向けて、多様な食文化・文化的習慣への対応を進めているが、現状は各店舗（点）での対応に留まっており、地域一体（面）での対応（受入体制構築や情報発信、旅行商品造成等）に至っていない。

【本事業終了時の目指す姿】

- 高付加価値旅行者としてのヴィーガン・ベジタリアン・ムスリム等が、安心して過ごせる環境の実現及び豊富な地域資源を有する倉敷ならではの食や文化体験を生かした誘客を行うことで、地域における観光消費の拡大を目指す。

地域内の多様な関係者を含めた検討会を実施し、 「インクルーシブツーリズム促進に係る地域戦略」を策定

● 検討会参加者概要

- ・ コンベンションビューロー
- ・ 隣接都市（岡山市）
- ・ 旅行会社
- ・ 宿泊施設
- ・ 地域住民団体
- ・ 地元ムスリム

● 策定した地域戦略



インクルーシブツーリズム促進に係る地域戦略

基本理念（何をを目指すか）

「多様な文化交流が育む、持続可能なMICE地域の実現」

倉敷市がMICEに取り組む大きな目的は、MICEが地域にもたらす「交流」です。
特定の食習慣や文化的習慣を排除せず、相互理解・協力により多様な文化との交流を生み出します。
そして交流が新たなまちの価値を創り、地域が豊かになる、持続可能なMICE地域の実現を目指します。

基本戦略（どのように進めるか）・戦術

- **基本戦略1 多様な食習慣や文化的習慣に対する地域の理解促進**
 - ・ 地域のネットワークを構築し、検討会や意見交換を実施
 - ・ 有識者による事業者向けセミナーや試食会、コンサルティング支援 等
- **基本戦略2 食の多様性の共通点に着目したヴィーガン対応強化**
 - ・ 特設WEBページやリーフレット製作等による情報発信の充実
 - ・ 先導的ヴィーガンレストランの市内ポップアップ展開 等
- **基本戦略3 地元ムスリム・近隣都市と連携したムスリム受入環境整備**
 - ・ 市内モスクをはじめとする地元ムスリムと連携した礼拝スペース設定、ハラール対応
 - ・ 岡山市等先進的都市と連携したコンテンツ造成、情報発信 等
- **基本戦略4 地域の資源で「稼ぐ」仕組みづくり**
 - ・ 農産品や調味料などの地域食材の発掘、活用
 - ・ 「民藝」や「デニム」等の地域資源を活用した体験コンテンツ造成 等



第2回検討会の様子

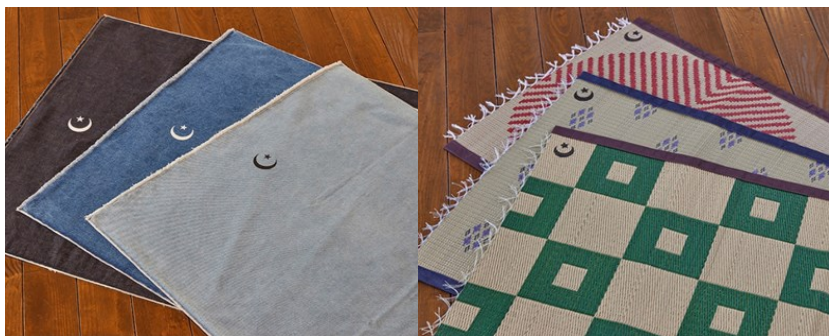


第4回検討会の様子

倉敷ならではの地域資源を活用した受入環境整備を行い、 特設HP・ガイドリーフレットでの情報発信を実施

●礼拝マットの開発

デニム・花ござ礼拝マットを開発



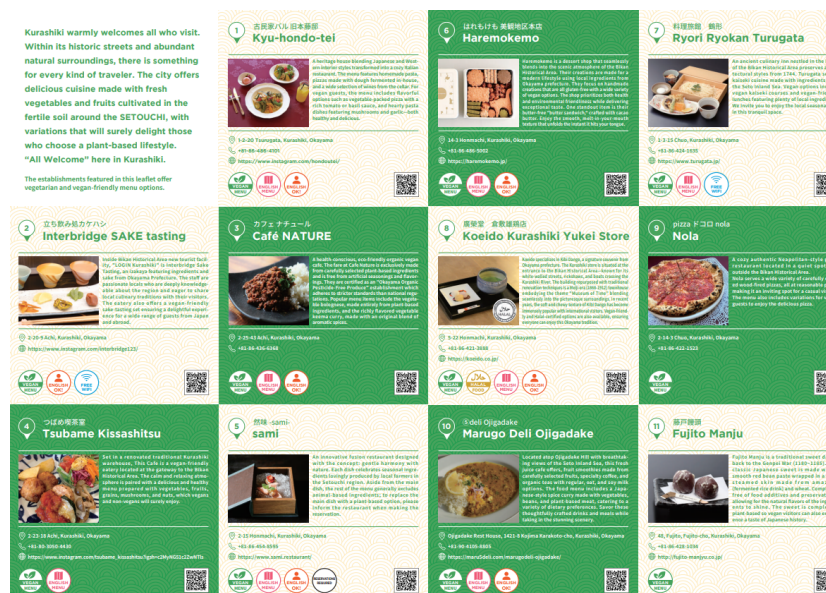
●ムスリム向け観光コンテンツの造成

インディゴ染体験の様子



●特設HP・ガイドリーフレット制作

アクセス用のQRコードを観光案内所等に設置



ムスリム向けの受入環境整備で先進的に取り組む岡山市と連携し観光モデルコースを設定

●岡山市と検討・設定したモデルコース

想定ターゲット：インドネシア／マレーシアからのムスリム20人程度の団体

	行程	
1日目	JR岡山駅 → ホテル（荷物） → ひとり鍋 恵（昼食） （昼前後） 13:15-14:15	朝：-
	→ まねき猫美術館（絵付体験） → ショッピング（イオンモール岡山orドン・キホーテ） 14:40-15:50	昼：○
	→ 喜怒哀楽（「かくし寿司体験」／（夕食）） → ホテル（泊）	夕：○
2日目	ホテル → 後楽園（見学）・岡山城（備前焼工房） → 吉備津神社（回廊等見学） 8:30 8:45-11:00 11:30-12:30	朝：○
	→ 倉敷美観地区（昼食（All Welcome掲載店）、倉敷館（礼拝）、廣栄堂倉敷雄鶏店（きびだんご、抹茶）、散策含む） 13:00-17:30	昼：○
	→ 周辺ホテル（夕食（ハラール対応）） → 倉敷美観地区夜間景観照明 → ホテル（泊）	夕：○
3日目	ホテル → 旧野崎家住宅見学・塩づくり体験 → 鷺羽山ビジターセンター（ヒジャブ等のインディゴ染体験） 9:00 9:45 11:30-（礼拝は施設内スペース（工作室）にて想定）	朝：○
	→ （乾燥中に）昼食（つばめ喫茶室ケータリング） → 児島ジーンズストリート散策 -13:30 体験で作った塩をかけて召し上がっていただく（児島市民交流センター側から）	昼：○
	→ JR岡山駅 16:00-	夕：-



倉敷美観地区（倉敷館）での礼拝



鷺羽山でのインディゴ染体験



ヴィーガン対応＋アルコールフリーのお弁当

今後は地域全体での意識醸成を図りつつ、中長期的な取組実現のための予算獲得を目指す

●新たに見えた課題・引き続き取り組むべき事項

- 多様な食文化、生活習慣を有する外国人の受入にあたっては、地域関係者の理解が重要。引き続き住民団体や事業者団体と意見交換や情報共有を図っていく必要がある。
- 比較的規模の小さい飲食店では動きが早く、メニュー開発は行えたが、宿泊施設等規模の大きい事業者は関係者全員の説得が難しく、引き続きセミナーなどの実施を重ね、着実に理解を得ていく必要がある。
- 活用できる地域資源がまだまだあると思われるので、それらを発掘、ターゲットのニーズに合わせてコンテンツ化し、「稼ぐ」仕組みを作る必要がある。



多様な食文化セミナーチラシ

●今後の目標・取組構想

【取組の方向性】

- 今年度策定した地域戦略を、今後策定予定の倉敷市MICE戦略及び次期倉敷市観光振興プログラム内に落としこみ、中長期の取り組みとして予算獲得を目指す。
- 対応飲食店や、体験コンテンツの増加を図るとともに、旅行博やMICE商談会等を通じて、地域の売り込みを図る。



倉敷市MICEロゴ